

## ■希望する地域おこし協力隊像■

アグリ甲斐は、地域担い手となる新規就農者への農業支援を行っています。作業内容は、同じ独立就農を目指す研修生とチームを組み実践研修を行います。それぞれの研修生が切磋琢磨しお互いを認め合えるような農業者になってもらい地域で独立してもらうことが目的です。高い志とビジョンを持った方を募集します。農業は自然相手ですので非常に厳しく、朝早くから作業を行い、農繁期には暑い最中続けての作業になることもあります。また、作業によってはホコリまみれになり雨の中、泥だらけになることもあります。力仕事もありますし、延々と同じ作業を繰り返すこともあります。過去には2年持たずにやめてしまった隊員もいて、もしかすると理想の農業とかけ離れているかもしれません。アグリ甲斐は、就農または就職の支援機関として地域の担い手を育てるという使命を感じていますが、農業に適さず継続できない方や、同僚とチームワークが取れない方であると協力隊員並びに支援機関のお互いが不幸な結果となってしまいます。生半可な志やビジョンで農業や自然におき合うのは難しいと考えます。自然と向き合い言い訳せず自分に厳しく、他人を尊重するといった謙虚な心を持ち、自己責任において自分のため地域のために責任をもって活躍できる方をアグリ甲斐は求めています。

## ■募集要項■

【勤務地】 農業生産法人アグリ甲斐

山梨県西八代郡市川三郷町上野2889

TEL 055-230-3200

【業務内容】

- (1) アグリ甲斐の営農指導により、農業技術の習得、農作物の栽培・収穫の生産活動
- (2) 農業者や地域住民とコミュニケーションを図り、現場において色々な情報を収集し、SNS等を活用して市川三郷町の農業・農作物の魅力や情報を発信する活動
- (3) 農業体験・収穫体験等の各種農業イベントへの参加、その他農業振興を図るための取り組み

### 【募集対象】

- (1) 農業に対する関心が高く、活動期間後、市川三郷町に定住し地域農業の担い手となっていただけの方
- (2) 心身ともに健康で、誠実に職務に取り組み、自ら考える意欲と実行力がある方
- (3) 地域の特性や風習を尊重し、地域住民と積極的にコミュニケーションを図ることができる方
- (4) SNS等のツールの発信に長けている方
- (5) 年齢満20歳以上、満40歳未満の方
- (6) 最低一年間継続できる方

### ■ 『アグリ甲斐』 設立経緯および地域農業の状況 ■

昭和から平成にかけて、初春には大塚地区・上野地区を中心にビニールトンネルが一面に広がる“スイートコーン”一大産地を誇っていました。しかし平成10年頃からは農業者の高齢化、後継者不足から、急激に作付面積が減少し将来的には産地維持が危惧される状況になりました。また同時に、農地の遊休化・荒廃化が目立つようになり就農者減少の歯止め対策が急務となりました。

当時、JA西八代（現在のJA山梨みらい）内部では、これへの対策として、JA内で『担い手支援事業』をスタートさせ県内外からの新規就農者の農業指導を行いました。しかし、就農希望者における農業への適性、初期投資への高額な負担を考慮するに、独立就農の前に農業経営体にて複数年（2～3年）の実践研修を行い、独立前後の支援を行うべきとの結論に至りました。

当時の法律では、JAが自ら農業経営を行うことが出来ませんでした（その後の法律改正により現在は可能）。山梨県農政部、市川三郷町、山梨県中央会、全農山梨県本部、JA生産部会等と協議を重ね、平成20年には、農業生産法人を設立するとのJA内組織決定を行い、平成21年7月、設立発起人（株主）としてJA西八代、市川三郷町、地域農業者9名により『農業生産法人 株式会社アグリ甲斐』を設立いたしました。

### ■ 『アグリ甲斐』の現況 ■

設立当初は、研修社員すべてが農業未経験者であり、農業機械も充実していなかったことから生産効率が上がらず赤字経営を余儀なくされました。また、平成26年2月豪雪時にはビニールトンネル倒壊により多大な損害を受けました。

しかし、平成26年度からは黒字転換（その後は毎期黒字計上）、平成28年度には累積赤字の解消が出来ました。

現在は、社員数9名（うち研修目的社員4名）、延べ耕作面積15ヘクタール、農産物生産高57百万円の事業規模まで拡大できました。

なかでも、主力の“スイートコーン・甘々娘”は、県内外市場・消費者の好評で高い収益性を保ち、作付面積5ヘクタール、収穫高7万5千トン、売上高3千万円となり、アグリ甲斐を卒業した生産者の収穫高を合わせると“甘々娘”のJA取扱高の40%前後まで伸長し産地維持に貢献しています。

また、新規就農者の育成としては、これまでに44名が研修に取り組み、うち24名が町内外で就農しています。アグリ甲斐を卒業し独立する時には、実際の知り抜いている圃場のうち、本人が希望する圃場を渡すことで就農当初のリスクを少しでも軽減し不足農機具の貸出を含めて、一人歩きできるまでを見届けるように独立支援を行っています。

### ■『アグリ甲斐』としての地域社会への貢献■

JA・行政機関等の指導を頂きながら、研修生とともに、この地域の特質である水田をフル活用した二毛作農業（1月～6月スイートコーン・春作野沢菜、6月～11月水稻・秋作野沢菜・茄子などの秋野菜）の継承、豊かなのっぴい土壌を利用した大塚にんじんなど伝統野菜の栽培、地域農業のパイオニアとして収益性の高い新規作物の試験栽培、圃場ごとの土壌検査・施肥調整による低コスト栽培試験を行い、農業技術情報を還元し地域農家全体の高品質・高収益栽培に資することを目指します。

以上のことにより、農業の地域産業としての発展、弊社事業規模拡大による雇用確保、また農地荒廃化抑制により美しい田園風景を未来に贈り届けることで、地域社会に必要とされるよう取り組んでいきます。